

- 新年を迎えての理事長からのご挨拶
- 「第 83 回日本公衆衛生学会・合同シンポジウム」のご報告
- 医師届出票の専門医資格記載について
- 「第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会 2024」のご報告
- 「第 83 回日本公衆衛生学会」のご報告
- 「第 98 回日本産業衛生学会」のご案内
- 「第 23 回世界災害救急医学会(WADEM2025)」のご案内
- 事務局からのお知らせ



新年を迎えての理事長からのご挨拶

社会医学系専門医協会 理事長
今中 雄一

2025 年(令和 7 年)を迎え、社会医学系専門医、指導医、そして専攻医の皆様の益々のご活躍を願い謹んで新春のご多幸をお祈り申し上げます。

社会医学系専門医制度をめぐっては、昨年、医学教育学会、法医学会、国際保健医療学会の 3 学会が友好学会（友好社員）として加わってくださり、一層の制度充実への道が拓かれました。当協会の構成も 11 学会 6 団体、計 17 組織となりました。

社会医学系専門医制度は、人々の命・健康を守り健康と取り巻く社会・環境の向上を目指します。そして、社会医学系専門医の社会的価値の向上を図ります。国が行う 2 年に一度の三師統計の医師調査票では「社会医学系専門医」の項目が、広告可能な専門医に並んで加わりました。

人口減少、社会保障財源逼迫、社会の複雑化が生じ、自然災害や感染症蔓延などの健康危機が増大傾向にある昨今、社会医学の役割は益々大きくなってきています。当制度でも、専攻医研修の充実化を進めるとともに、実績のあるミドル世代やシニア世代向けの資格付与制度も始まっています。また、e ラーニングのコンテンツはますます充実してきていますが、まだ利用されていない方もいるようで、是非ご活用いただきたく思います。

この新年においても、社会医学系専門医、指導医、専攻医の皆様のご活動が、より一層発展していきまことを祈念申し上げます。

「第 83 回日本公衆衛生学会・合同シンポジウム」のご報告

社会医学系専門医協会 理事
和田 裕雄

第 83 回日本公衆衛生学会総会が開催され、米国内科学会日本支部 (American College of Physicians (ACP) Japan Chapter)、日本医学教育学会、そして当協会との合同シンポジウム 3 4 「社会医学と臨床医学の連携・相互補完」が開催されました (2024 年 10 月 30 日、座長 今中雄一先生、和田裕雄)。

矢野晴美先生 (American College of Physicians (ACP) Japan Chapter、米国内科学会日本支部長、国際医療福祉大学) は、「学際的なコラボレーションのススメ」と題して、まず、ACP の使命および日本支部の目標を説明頂き、さらに、予防医学の推進や若手育成から、複合的な健康課題への対応できる体制構築のためにも、卒前・卒後・生涯教育というシームレスで、社会医学系リサーチ・スキル習得を含む教育体制の確立の必要性について言及がありました。日常的・学際のコラボレーション、その基盤と文化の醸成、人材育成のロールモデルの提供などが重要であると強調されました。

錦織宏先生 (日本医学教育学会理事場・名古屋大学) は、「社会医学、行動科学、社会科学、そして医学教育学」と題して、医学教育部門の設置や医学教育専門家制度の確立など、医学教育学領域の専門教育体制についての説明から始まり、社会医学と臨床医学の接続の重要性が強調されました。その中で、医学教育学は臨床医学教育学になりがちであると指摘され、医学教育と社会医学との関係性および双方の役割につき深く議論頂いた。なお、本年より、日本医学教育学会は、社会医学系専門医協会の友好団体となりました。

林修一郎先生 (厚生労働省保険局医療課長) は「医系技官の業務にみる社会医学」と題し、まず、医系技官の職務内容、活動からみた社会医学と臨床業務の関連について概説されました。そのうえで、臨床医学だけでなく、「医系技官等の社会医学領域における業務も、医師の仕事として当たり前の仕事として考えたい」との発言がありました。その社会実装の一例として、公衆衛生業務、社会医学系専門医等が選択肢に記載された新しい「医師届出票」の紹介もありました。

今中雄一先生 (社会医学系専門医協会理事長、京都大学) は「縦横に織り込まれた社会医学と臨床医学」と題して、臨床医学と社会医学とは完全に分離されたものではなく、様々な割合で混ざっている場合が多いとする考え方にに基づき、臨床研究や医療提供体制の構築、病院経営などの分野を中心に両者の知識が必要であることが強調されました。健康危機管理 (健康の保障) の考え方の紹介もありました。そのなかで臨床医が行政に出向する、社会医学の専門家が病院長になるなど、両分野間での人材交流である「クロスキャリア」の提案と重要性が強調されました。

第 83 回日本公衆衛生学会総会事務局に於かれましては、本シンポジウムを、参加者の多い 2 日目午前、長時間の枠を準備下さりました。お陰様で、上記の発表の後にもフロアの参加者も含めて活発な総合討論を行いました。いろいろと御配慮下さり有難うございます。

医師届出票の専門医資格記載について

社会医学系専門医協会 幹事
杉山 雄大

【医師届出票の資格名に社会医学系専門医が追加されました】

昨年4月、当協会理事長名で「医師届出票」の記載に関する要望書を厚生労働省医政局医事課長に提出しておりました。9月に医師法施行規則等の一部を改正する省令が公布され、業務従事状況の報告の様式において、(1)「主たる業務内容」の欄に従前からあった「産業医業務」に加えて「公衆衛生業務」と「司法行政解剖業務」が追加されました。また、(2)「取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名、麻酔科の標榜資格、社会医学系専門医及び医師少数経験認定医師」の欄に「社会医学系専門医」が追加されました。該当される先生におかれましては、このたびの届出に際し、該当項目の選択をご検討くださいますようお願い申し上げます。

医 第二号書式(第六次改正) 医師届出票 R06 医 (令和6年12月31日現在)

「主たる業務内容」の欄に従前からあった「産業医業務」に加えて、「公衆衛生業務」と「司法行政解剖業務」が追加となりました。

医 第二号書式(第六次改正) 医師届出票 R06 医 (令和6年12月31日現在)

「取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名、麻酔科の標榜資格、社会医学系専門医及び医師少数経験認定医師」の欄に「社会医学系専門医」が追加されました。

III 61 社会医学系専門医

学会開催のご報告

第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会のご報告

第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会

学術総会長 福田 敬

(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター センター長)

2024 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）に国立保健医療科学院（埼玉県和光市）において、第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会を開催いたしました。ご参加・ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

日本医療・病院管理学会は、保健・医療・福祉分野における諸問題を多面的に考究し、社会の進歩と人類の福利に貢献することを使命とする学会で、1963 年に日本病院管理学会として設立されました。設立当初は厚生省病院管理研究所内に学会事務局を設置し、個別の病院の管理手法等に関する研究だけでなく、保健医療福祉に関する施策に関連する研究等にも積極的に取り組んでいます。

今回の学術総会を開催した国立保健医療科学院は、国立公衆衛生院、国立医療・病院管理研究所及び国立感染症研究所・口腔科学部の一部を統合して 2002 年に設置された機関で、当学会とは関連が深い機関です。この 4 年ほどはコロナ禍のもと学術総会もオンライン開催が中心となりましたが、今年は 5 年ぶりに一般演題発表を含め、対面での開催としました。学術総会の際は、それぞれが取り組んでいる研究に関して、熱心に議論し将来的な研究の発展につなげていく機会となることが重要と考えています。また多くの講演・シンポジウムについては学術総会後にオンデマンド配信も実施いたしました。

今回の学術総会のテーマは「改めて考える医療の『質』と『効率』」としましたが、これに限らず様々な講演やシンポジウムを開催し、社会医学系専門医単位認定の対象としても 20 の講義・シンポジウム（計 24 単位）を選定していただきました。また全国保健所長会との共同企画なども実施しました。社会医学系専門医は今後益々必要とされるものでありと認識しており、社会医学系専門医制度の充実のために少しでも貢献できたのであれば幸いです。

日本医療・病院管理学会は社会との関わりや政策などと密接に関連している学会です。今後ともご参加をご検討いただけますと幸いです。

第 83 回日本公衆衛生学会のご報告

第 83 回日本公衆衛生学会総会

学会長 玉腰 暁子

(北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室 教授)

このたび、第 83 回日本公衆衛生学会総会をメインテーマ「ともにいきる 協創を拓く対話」の下、2024 年 10 月 29 日（火）から 31 日（木）、北海道札幌市で開催いたしました。天候にも恵まれ、お越しいただいた 3600 名余の方たちの対話の機会になったのであれば、望外の喜びです。

総会では、演題登録は 1450、公募シンポジウムにも数多くのお申し込みをいただきましたが、会場と時間の関係で、55 に絞らせていただきました。例年行われている企画に加え、北海道内自治体（札幌市、岩見沢市、大樹町）の長による今後の社会の在り方を考える鼎談を行いました。他に先駆けて高齢化が進む北海道の自治体の現状から、参加くださった方それぞれにいろいろ考えていただく機会となったことと存じます。また、哲学カフェ、サイエンスカフェ、ワークショップといった対話を体感できる新しい試みも大変好評でした。さらに、研究方法や分析の基礎を学べるようにと、開催した専門家によるモーニングセミナーは、多くの方に参加いただき、学会で学ぶ重要性を改めて感じる機会となりました。講師の先生方、朝早くからありがとうございました。意見交換会は短時間・ワンコイン（500 円）での開催として、その後は自由集会や食事にと、それぞれの時間としていただきましたが、食の魅力にあふれる札幌ならではの言葉も頂戴しております。次を担う世代との交流の場ともなることを願って、高校生や大学生の参加、発表も呼び掛けたほか、若手の委員会の企画により初めての学会参加の方には参加証にシマエナガシールを貼っていただくようお願いしました。これが大変可愛いシールで、本来貼らなくてもよい方もお取りになっていたと聞きました（初日にシールがなくなってしまう、必要な方に渡らなかったこと、お詫びいたします）。

なお、発表者の方々のご協力により、多くのシンポジウム、ランチョンセミナーのオンデマンド配信の期限を 9 月末日まで延長いたしました。参加くださいました皆さま、ぜひご活用ください。

学会開催のご案内

第 98 回日本産業衛生学会

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/sanei98/index.html>



第98回
日本産業衛生学会

「持続可能でよりよい
世界を目指す産業保健」

会場: 仙台国際センター展示棟、
川内萩ホール(東北大学)、他

会期: 2025年5月14日(水)～17日(土)

企画運営委員長
黒澤 一 (東北大学環境・安全推進センター教授・統括産業医)

イラスト: 山本重也

会 期 2025年5月14日(水)～17日(土)

会 場 仙台国際センター展示棟、川内萩ホール(東北大学)、青葉山公園仙臺緑彩館、仙台市博物館

テ ー マ 持続可能でよりよい世界を目指す産業保健

企画運営委員長 黒澤 一 (東北大学環境・安全推進センター教授・統括産業医)

事 務 局 東北大学大学院医学系研究科産業医学分野

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン事業共創部 コンベンション第二事業局

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTBビル 8階

TEL: 06-4964-8869 E-mail: sanei98@jtbcom.co.jp

第 23 回世界災害医学会 (WADeM 2025)

ホームページ <https://wadem.org/congress/tokyo-2025/>

会 期 2025 年 5 月 2 日(金)~6 日(火)
会 場 京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿 2 丁目 2-1)
テ ー マ Governance of the Face of VUCA: the Power of Knowledge, Courage, and Solidarity in Health Systems (VUCA 時代のガバナンス: 叡智、勇氣、連帯の力で強くしなやかな災害保健医療システムをめざして)

会長・組織委員会委員長 大友 康裕(国立病院機構災害医療センター 院長)

2025 年 5 月 2 日から 6 日、東京都新宿区の京王プラザホテルで第 23 回世界災害医学会が開催されます。大友康裕先生を Organizing Chair、小井土雄一先生を Vice Organizing Chair とし、WADeM (President: Don Donahue 先生) と日本災害医学会(代表理事: 本間 正人先生) の共催という形で行われます。

WADeM (World Association for Disaster and Emergency Medicine) は、災害対応をはじめ、公衆衛生施策、健康危機管理等の世界レベルでの向上と各国間のより強い連携を目的とした国際的な学術団体です。世界約 60 カ国の災害医療の中心を担うエキスパート・実務者・研究者により組織されており、2 年に一度、世界中で学術集会を開催しながら多くの災害医療に纏わるエビデンスを世に提案し、現在の世界的な災害医療の潮流を形成してきました。

このたび、日本災害医学会の世界的な活動が認められ、日本(東京)で開催されることとなりました。メインテーマは「Governance in the Face of VUCA: The Power of Knowledge, Courage, and Solidarity in Health Systems (邦題 VUCA 時代のガバナンス: 叡智、勇氣、連帯の力で強くしなやかな災害保健医療システムをめざして)」としました。VUCA (ブーカ) とは、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) という 4 つの単語の頭文字をとった言葉で、目まぐるしく変転する予測困難な状況を意味します。本邦では多くの災害において、まさに予測困難な難しい状況

に直面しましたが、国内で蓄積されていた災害に関する知識を元に、様々な組織が団結して乗り越えてきました。その経験を是非世界に共有できればと思います。

WHO によるリサーチセッションなどの魅力的な特別セッションや、世界で災害医療を牽引するリーダーによる講演も企画しております。その中で社会医学系専門医認定講習も設ける方向で調整しておりますので、社会医学系専門医の皆様におかれましては、この貴重な機会に振るってご参加いただけますと幸いです。

有意義な学術集会となりますよう、引き続き鋭意準備を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

WADEM 2025 運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail : wadem2025@convention.co.jp

文責：八木雅幸・赤星昂己・浅倉友理・原田奈穂子

アイルランド大会にて旧・現理事長らと



アイルランド大会ハンドオーバー



社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ

【専門医・指導医更新のご提出いただきありがとうございました】

2024年11月30日をもちまして、本年度の更新申請の受付を終了いたしました。

本年度更新申請対象者で更新申請をいただいていない場合、

当会 HP にて更新延長届をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員マイページよりご変更ください。

下記 URL 上部 「会員マイページログイン」 のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページへのログインにはログイン ID（会員番号）/パスワードが必要となります。

パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

ログイン ID（会員番号）は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局（jbphsm@asas-mail.jp）までご連絡ください。

件名：社会医学系専門医協会：ログイン ID 照会（会員ページログインのため）

①氏名

②ご所属先

③生年月日（19XX/●●/△△）

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送いたします。

【記載事項】

- ・会員様のお名前
- ・会員番号
- ・お支払いいただいた金額
- ・何年度分の年会費



※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : jbphsm@asas-mail.jp

FAX : 03-5981-6012